

平成 25 年度第 1 回 横浜市技能文化会館指定管理者選定評価委員会 会議録	
議 題	1 第三者評価及び選定評価委員会の説明 2 審議事項 (1) 委員長の選任について (2) 評価の実施方法について
日 時	平成 25 年 9 月 6 日 (金) 午後 2 時 30 分から午後 4 時 20 分まで
開催場所	横浜市技能文化会館 5 階特別会議室
出席者	小泉委員、菅野委員、武田委員、藤野委員
欠席者	原委員
開催形態	公開 (傍聴者 3 人)
決定事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 委員長として、藤野委員を選出。 ・ 職務代理人については、委員長からの指名により、菅野委員に決定。 ・ 本日の議事録署名人については、委員長からの指名により、武田委員に決定。 ・ 「業務評価表」については、重点項目を区別できるよう事務局で一部修正を行った上で、指定管理者に送付する。 ・ 前項に関連し、重点項目を区別するための追加資料を事務局で用意する。 ・ 次回委員会の開催を、平成 25 年 11 月 18 日 (月) 午後 2 時からとする。
議 事	1 第三者評価及び選定評価委員会の説明 (事務局) <資料に基づき説明> (藤野委員) 第三者評価以外に「指定管理者の自己評価」「市の評価」「利用者による評価」等の評価手法がありますが、項目・期間等に違いはありますか。 (事務局) 指定管理者の自己評価は、「年次」の報告書で行われ、「水準以上」「水準どおり」「水準に足りない」といった評価水準で示されます。市による評価は、連絡調整会議の中で指定管理者からの報告を確認することで行われ、定型の形式はありません。利用者等による評価は、指定管理者が実施するアンケート・懇談会等で行われており、その内容は、配付資料の中で御確認いただけます。なお、お叱りを含めた「随時」の御意見は、直接的に会館職員に寄せられることが多いと認識しています。

2 審議事項

(1) 委員長の選任について

- ・ 全員一致で、藤野委員長を選出。
- ・ 職務代理者については、委員長からの指名により、菅野委員に決定。
- ・ 本日の会議の議事録署名人については、委員長からの指名により、武田委員に決定。

(2) 評価の実施方法について

(事務局) <資料に基づき説明>

(委員長) 指定管理者の自己評価については、市でも確認を行っていますか。

(事務局) はい。指定管理者と市の評価で大きな隔たりがあれば、連絡調整会議の中で、指摘をすることになりますが、現在までにそのような事例はありません。

(委員長) 指定管理者の自己評価についても、(第三者評価の事務局案と同様に)項目ごとにA・B・Cで「水準以上」「水準どおり」といった手法で評価を行っているのですか。

(事務局) 同様の手法です。

(委員長) 評価項目の量が非常に多いので、負担を感じます。確認となりますが、今回の第三者評価は、選定を行った際の指定管理者が提出した提案書を評価するのと違い、仕様書に従った内容がきちっと行われているかを検証するということですか。

(事務局) 仕様書は、「何を、どう行うか」が具体的な規定になっており、評価が行いやすく、(事務局案では)仕様書から取り上げた評価項目が多くなっています。しかし、指定管理者制度そのものが、民間ならではの取組みを期待しているものであり、(仕様書から離れ)選定時の提案書・提案内容の達成状況を自由にアピールできる項目も取り入れています。

(武田委員) 指定管理者に運営を委ねる主な目的は、稼働率の向上、会館の認知度向上、コスト削減であったと思うので、これらを中心に項目を絞ってもらえると、評価作業が進めやすくなると思いますが、どうでしょうか。

(事務局) 稼働率やコスト面も重要ですが、「技能職振興」が技能文化会館設置目的の大きな柱となっているので、数字で捉えにくい「質」的な側面も重要だと考えています。

講座の回数、参加人数だけでなく、会館で交流されている技能職者団体へのバックアップも色々な場面で行われているので、そういった取組みも評価の対象としていただければと考えています。

(委員長) 数値化できるものは、できるだけ数値化した状態で評価を行いながらも、その上で、それがどういう成果につながったかが重要だと考えます。例えば、稼働率の上昇そのものについても確かに評価はできますが、稼働率が上昇したことによりどんな成果があったのか、その目的まで（の到達地点）を講評していくことになるので、数値化できるもの（稼働率等）は数値で確認し、数値化できないものについては、こういう段階まで達成できたという説明を受けるのが分かりやすいと考えます。ただ、現在の段階（本日の会議）で、評価項目の取捨選択は難しいと考えますが、指定管理者にとって、この自己評価の作業量は大きな負担になりませんか。

(事務局) 年間の事業報告から大きく離れている訳ではないので、昨年の自己評価（既に作成済の報告書）を再構成すれば、大半は作成可能と考えています。

(委員長) 24年度を評価対象とするのは良いと思いますが、23年度・24年度の状況を比較して順調に進捗しているものと、そうでないものが分かれば、どのように課題を克服していったのかについて話を聞くことができると思います。小泉委員は、利用者としてのお立場もあると思いますが、何か御意見はありますか。

(小泉委員) 利用者として、指定管理者そのものを評価するのは難しい面があると感じます。ただ、このように（業務評価表のように）項目立てしてあれば、評価は可能だと思います。

(事務局) よろしければ、最初から評価項目を絞るのではなく、全体の評価表を作成させていただき、指定管理者の自己評価を見ながら、項目を絞ってヒアリングにつなげていただければと考えます。それと、1年目評価が低く、2年目に改善が認められた評価項目が分かるものを追加資料として用意させていただきますが、いかがでしょうか。

(委員長) お願いします。（他の項目での議論の時間を確保するため）標準的なB評価にある項目については、（ヒアリングを行わなくとも）内容が十分確認できるように（評価表の中で）説明していただきたいと考えます。また、ヒアリングに入る前に、項目別に分けたものではなく、この2年半の指定管理業務について、大きな視点からの話を聞かせていただきたいと考えます。指定管理者に応募された経緯や当初

	<p>順調に進むと考えていたがそうではなかった点、あるいは逆に予想外に順調に進んだ点など、お聞かせいただきたいと思います。</p> <p>(菅野委員) 賛成です。ただ数値的なものだけで評価するのではなく、どういう取組みをしたのか、どんな難しい問題があったのか、今後どう改善していきたいのか、伺いたと思います。</p> <p>(事務局) 業務評価表については、A又はCといった評価をされる場合はコメントを頂戴したいのですが、B評価で、気になる点がなければ、特にコメントは必要ありません。また、仮評価を行う際には、全ての項目を埋めておく必要はなく、ヒアリング時の力の入れどころが分かるように各委員のお手元で準備をしていただくということでしょうか。</p> <p>(委員長) 我々（委員会・事務局）もそうですが、指定管理者の方にも力を入れている点については強調して回答して欲しいと思います。前指定管理者と比べて、こんな風に成果が出ているといった例示があると分かり易いと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 評価基準については、ABCの原則3段階で、必要に応じて+-による特記を加える事務局案で全員了承。 <p>(委員長) スムーズに評価を進めるために、数値を示してもら場合でも、それが大きいものなのか小さいものなのか、比較の対象となる例も示してほしいと考えます。</p> <p>(事務局) 推移が相対的な判断材料になると思われます。</p> <p>(委員長) 第2回の委員会では、現場視察、ヒアリング、第1次評価の3つを行うということになりますか。</p> <p>(事務局) 1次評価につきましては、第2回の委員会前に、ヒアリングの事前準備として御自宅等で事前に完了していただきたいと思います。その際に、ヒアリング前に入手したい資料や確認しておきたい内容があれば、事務局で手配いたします。1次評価については、事務局に提出する必要はありません。あくまで各委員のヒアリングに向けての準備メモとしての取扱いを考えています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 次回（第2回委員会）は、11月18日（月）午後2時からで決定。 <p>(菅野委員) ヒアリング自体はどの程度の時間を想定していますか。</p>
--	--

	<p>(事務局) 他施設の例だと 30 分程度が多いようですが、延びても構わないと考えています。</p> <p>(委員長) プレゼンテーション（全体的な指定管理の状況）については、ヒアリングとは独立して 15 分程度、予定していただきたいと思います。</p> <p>(事務局) 評価表の修正及び追加資料については、各委員に見ていただいてから、指定管理者に送付した方がよろしいでしょうか。23 年度と 24 年度で評価が上昇している項目を表示する必要がありますが、事務局にお任せいただいてもよろしいでしょうか。</p> <p>(委員長) 事務局の方が（全体を）把握されていると思うので、既に受領している過去 2 か年度の評価を参考に、重点的に説明が必要と考える項目については、（事務局から指定管理者に、その旨）説明した方が適当だと考えます。</p>
--	---

平成 25 年 11 月 4 日

議事録署名人

横浜市技能文化会館指定管理者選定評価委員会委員

(武田委員署名)